

# 会 議 録

<b>会 議 名</b>		平成 30 年度 第 5 回 八王子市環境推進会議				
<b>日 時</b>		平成 31 年（2019 年）2 月 26 日（火）	<b>開 始</b>	14 時 00 分	<b>終 了</b>	16 時 00 分
<b>場 所</b>		八王子市役所 501 会議室				
<b>出席者氏名</b>	<b>委 員</b>	<b>【環境市民会議】</b> 金子 孝、栗田 和仁、奥村 司、高橋 一郎、佐藤 晃、浅田 政勝、谷村 伸一（議長）、木野 孔司、田中 猛、山下 明子 <b>【市民委員】</b> 飯沢 由里香、小沼 廣、吉川 政雄 <b>【市職員】</b> 小山総合経営部長、佐藤環境部長（副議長）、原田資源循環部長、池内水循環部長、守屋都市計画部長、坂倉まちなみ整備部長、南部環境政策課長 以上 20 名				
	<b>事務局</b>	環境部環境政策課：山本課長補佐、星主査、峯岸主任、山口主事 環境部環境保全課：青木環境保全課長、佐藤課長補佐 水循環部水環境整備課：吉岡水環境整備課長、清水課長補佐、田代主事 以上 9 名				
<b>欠席者氏名</b>		沼田 政見、加納 啓有 以上 2 名				
<b>議 題</b>		1 地球温暖化対策地域推進計画の改定について 2 水循環計画の改定について 3 みどりの基本計画の改定について（中間報告） 4 その他				
<b>公開・非公開の別</b>		公開				
<b>配 付 資 料</b>		<b>【事前配付】</b> ・次第 ・資料 1 八王子しみどりの基本計画改定 中間報告 ・資料 2 八王子市地球温暖化対策地域推進計画の改定に係る基本方針について ・資料 3 「八王子市水循環計画」の改定に係る基本方針について  <b>【当日配付】</b> ・次第（修正版） ・第 2 次八王子市環境基本計画（素案）に対するパブリックコメント実施結果について				
<b>内 容</b>		谷村議長挨拶 委員の出欠及び配付資料の確認  1 議題 <b>地球温暖化対策地域推進計画の改定について</b> 資料 2 に基づき、事務局（環境政策課）より説明した。  <b>【説明内容抜粋】</b> ■計画期間は 2020 年度から 2030 年度の 11 年間とする。（国の期間と整合させる。） ■基準年度は平成 12 年度から平成 25 年度に変更する。（国の基準と整合させる。） ■CO <sub>2</sub> 排出係数は平成 21 年度の排出係数（固定値）から、各年度の排出係数（実数値）に変更する。（国の係数と整合させる。） ■基本目標は、環境基本計画のもの（基本目標Ⅱ）に合わせる。 ■基本方針、基本施策及び重点プロジェクトについては、社会情勢を踏まえたうえで現状に即したものとし、目標達成に向け変更する。  <b>【質疑・応答及び意見】</b>				

- 排出係数を実数値に変更することは良い判断である。
- 実情を正確に把握するためには排出係数を実数値とすべきであり、早い段階から変更すべきであった。
- 市民のCO<sub>2</sub>排出量削減の取組が実感できるよう固定値を採用してきた一方、実数値での公表も行ってきた。今後は実数値に統一したい。
- 資料P5について、重点プロジェクト⑩に適応策とあるが具体的に何を行うのか。
- 施策の種類は多岐に渡るため、1年間で検討していきたい。
- 地球温暖化対策は大規模な問題である。今回の改定により、市民として何を行えばよいか啓発すべきである。
- 現在「はちおうじ省エネ国」等の取組を行っているが、新たな案も検討して計画内に反映したい。
- 定めた方針を守っていく方法も考慮すべきである。
- 様々な施策を策定するだけでなく、取り組む人を増やすことも重要である。その方法についても検討していく。
- 取組が多すぎても市民は混乱してしまう。時期や年ごとに取組内容を厳選するのはどうか。
- 市民がいかに取り組みやすくするかを課題としていることもあるので、様々なメニューを用意することで対応していく。具体案については次回会議以降で示していきたい。
- CO<sub>2</sub>排出枠を設けるなどの、将来を見据えた対策をすべきである。
- より現実的な目標を設定していく。

## 2 議題

### 水循環計画の改定について

資料3に基づき、事務局（水環境整備課）より説明した。

#### 【説明内容抜粋】

- 改定にあたる課題として、水質の改善を踏まえた課題設定と施策の検討、流域マネジメントや地下水マネジメントの明確化などが挙げられる。
- 計画期間は2029年度までとする。
- 現行の基本理念、将来像は継続して採用する。
- 取組状況や社会状況の変化を踏まえ、課題設定及び施策の再構築を行う。

#### 【質疑応答・感想】

- 資料P6について、谷戸の保全に係る課題をどのように考えているか。
- 里山保全と関係する部分でもあるので、環境基本計画やみどりの基本計画との整合を取りながら、実効性のある施策を策定していく。
- 資料P7の河川水量の測定結果について、浅川長沼橋のデータしか掲載がないが、他の地点でも測定しているのか。
- 浅川が代表的な河川であるため資料に掲載した。測定は、環境基準点8箇所のほかに大栗川を加えた計9箇所で実施しており、水循環計画の資料編で公開している。
- 資料P7について、BOD濃度が増加しているのは、水量が減少したためか、または水質の悪化か。何か原因を把握しているか。
- 明確な原因は把握していない。水量が影響した可能性も考えられる。
- 資料P7について、平成28・29年度でBOD濃度が上昇しているのはなぜか。
- 横ばいと捉える範囲内であると考えているが、検証を行っていきたい。
- 資料P7について、河川水量は減少しているのか。
- 過去10年間の調査結果上は横ばいである。
- 河川水量は、目視では3年ほどで明らかに少なくなっていると思うがどうか。
- 水量の見え方も大切であると思う。今後も継続して調査を行っていく。
- 川には側溝からの雨水・排水などが流れてきており、その中にはタバコなどのごみが混じっている。側溝の水がそのまま川に流れることに対して、これまでに対策を行ったことはあるか。
- 下水道の接続促進を行ってきたが、排水溝から出る水の水質を向上できる対策も検討していく。
- 大沢川上流では下水道未接続の箇所があるが、そのような箇所は他にもあるのか。

→現在の接続率は約 98%である。未接続は 2%弱であるが、実際の量は多い。  
 ■水辺の綺麗さを象徴できるコウノトリが棲めるような水環境整備を行ってほしいと考える。広大な八王子市はそれに相応しい。先進である兵庫県豊岡市の例を参考としてほしい。  
 →どのようなことができるか考えていく。  
 ■資料 P9 について、マネジメントの具体策はあるか。  
 →流域マネジメントについては、日野市等と連携し浅川写真コンクールを行うことや、地下浸透に関する取組を流域の団体と連携して行うことを指す。地下水マネジメントは、一般的には観測井、それ以外は民間の井戸を用いて地下水の水位を測るモニタリングが主な内容である。定期的な測定に向けて、方法を検討していく。  
 ■水路の清掃をしていると、隣接宅地から水が出てきたり、工事の泥水が流されたりしている。清掃後のごみは清掃事業所に収集してもらっている。市全体の環境を考えた場合、市民が活動しやすいように所管の連携にも更に取り組んでもらいたい。また、現場の人が動けるような改定を行ってほしい。  
 →所管の連携は大切である。連携体制も踏まえて計画に反映していきたい。また、市民と共に動けるような改定を行ってほしい。

### 3 議題

#### みどりの基本計画の改定について（中間報告）

資料 1 に基づき、事務局（環境保全課）より説明した。

##### 【説明内容抜粋】

■改定における課題として、緑被率は減少傾向であること、適切な維持管理が不十分であることなどが挙げられる。  
 ■改定に当たっては、みどりの機能の中に「子育て・教育」、「地域コミュニティ形成」の機能を追加する。  
 ■目標については、緑地率や市民一人あたりの公園面積といった指標を採用し、従来より分かりやすい目標設定とする。

##### 【質疑応答・感想】

■資料 P2 について、景観とは何を指すか。  
 →街路樹や生け垣など、目に見えるみどりを指す。  
 ■資料 P8 について、中央地区にみどりが少ないとあるが、緑被率が減少しているということか。  
 →中央地区に公園等が少ないという意味である。ニュータウンは開発に併せて緑化施策を行っているが、緑被率の減少は市内全域の傾向である。  
 ■みどりの質について、保護すべき植物の保全も重要である。質の向上のための具体的な方法を考えてほしい。  
 →資料 P11 に記載されているみどりの機能を、複合的に引き出すことである。  
 ■みどりをつくるだけでなく、市民が親しめるものにしてほしい。  
 →市民・事業者・行政の協働により、みどりの質を高めていきたい。  
 ■劣化した森林の放置も課題となると考えるがどうか。  
 →景観を良くするためにも、里山の機能を向上できるような計画にするとともに、民有地にも働きかけができるようにしていきたい。  
 ■中央地区のみどりの減少について、具体的な方策はあるか。  
 →道路の維持管理の問題もあるが、国土交通省ではグリーンインフラの考え方もあることから、街路樹の植樹を推進できるよう計画に盛り込んでいく。  
 ■特定外来種の繁殖への対策も必要だが、どのように考えているか。  
 →外来種を発見したら適切に処理するよう呼びかけているが、より市民が分かりやすく、対応しやすい計画にしていきたい。  
 ■資料 P13 について、緑地率は実際に算出するとかなり小さい数値になると思われるが、現状はどうか。  
 →現状の数値は算出中である。また、緑被率も並行して使用していく。  
 ■みどりの質について、成熟したみどりに対してどのように質の向上を図るのか。また、質の向上とはどのようなものなのか分かるよう、イメージがあると良い。

	<p>→みどりの機能を1つでも多く持たせるとともに、市民との協働によって様々な役割を担えるようにしたい。</p> <p>■八王子市のSDGsの取組について、更にアピールすべきではないか。</p> <p>→現在検討しており、ホームページへの掲載も予定している。職員に対しては研修等を利用することで意識啓発を図る。</p> <p>■「子どもが集まる公園」を意識することで、質の向上につながる。</p> <p>■環境に関する計画を知っている人を少しでも増やすことが必要であるため、市民等への周知にも力を入れてもらいたい。また、関係団体との連携にも努めてもらいたい。</p> <p>→情報の発信が、環境に配慮する方の増加にもつながると思われるので、一層力を入れていきたい。また、関係団体との連携についても努めていきたい。</p> <p>■市のみどりは昨年7月の台風により非常に痛んでいる。</p> <p>→緊急な修復を要する危険な箇所は取り急ぎ対応したが、単年度で倒木等を全て修復するのは難しい。できる限りの対応をさせていただいているところである。</p> <p>■公園やみどりの質の向上について、公園を所管する部署の見解はどうか。</p> <p>→子育て・コミュニティの役割もあるので、そのような役割を果たせる公園を広めていきたい。指定管理者とも連携しながら、適切な管理により質を高めていきたい。</p> <p><b>4 その他</b></p> <p>第2次環境基本計画パブリックコメント結果について、事務局（環境政策課）より説明を行った。</p> <p>【説明内容抜粋】</p> <p>■意見提出者数は26名、意見総数67件であった。</p> <p>■公表については3月上旬の予定である。</p> <p>【質疑応答・感想】</p> <p>なし</p> <p>飯沢委員、吉川委員挨拶（平成31年（2019年）3月31日をもって任期満了となるため）</p> <p>以上をもちまして、平成30年度第5回環境推進会議を終了します。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>署名人</p>	<p>2019年4月18日 署名人 金子 孝</p>